

小樽市における 産業クラスター形成

クラスターは「ぶどうの房」のように多くのものが一団になっていることを指します。産業クラスターとは、産業(商業を含む)が地方自治体、大学(校)、各種支援機関やネットワークと、ぶどうの房のように一団となって活性化を図ろうとするものです。リスクに強い構造です。

小樽市には独自の歴史・文化があり、優れた工芸や食品を生み出す力、それらを支えるものづくり(工業)の力があります。講座では小樽における“強い”産業クラスターの形成について考えます。

2017.11.18 土

14:00~16:00 (開場13:30)

会場

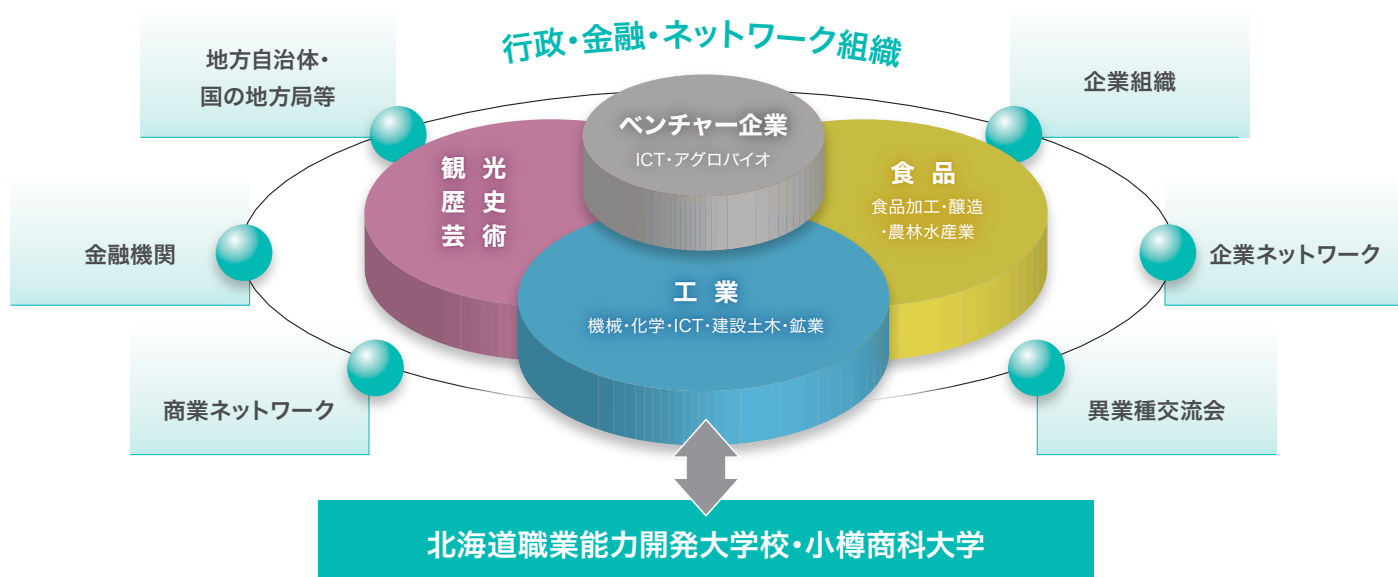
小樽経済センター4階ホール

(小樽市稲穂2丁目22-1)

定員 50名
(先着)

参加無料
(申込制)

小樽産業クラスターの重点領域と要素



当日のタイムスケジュール

14:00	講演開始
14:00~14:01	開講の辞
14:01~14:05	開講の挨拶 小樽市市長 森井 秀明氏
14:05~14:50	第1部 講演「世界の産業クラスター」 北海道職業能力開発大学校校長 荒磯 恒久氏
14:50~15:00	質疑応答
15:00~15:10	休憩
15:10~15:55	第2部 パネルディスカッション 「小樽市における新たな産業クラスター形成の可能性について」 パネリスト 藤江 稔氏(経済産業省北海道経済産業局) 高野 宏康氏(小樽商科大学) / 鈴木 匡氏(北海道能開大) モデレーター 荒磯 恒久氏(北海道能開大)
15:55~16:00	閉講の辞



北海道職業能力開発大学校校長
荒磯 恒久氏



経済産業省 北海道経済産業局
地域経済部 産業技術課 産学官連携推進係長
藤江 稔氏



小樽商科大学 グローカル戦略推進センター
地域経済研究部 学術研究員
高野 宏康氏



北海道職業能力開発大学校
援助計画課長
鈴木 匡氏

小樽市における産業クラスター形成

講演者・パネリスト プロフィール



北海道職業能力開発大学校校長

荒磯 恒久

ARAIISO Tsunehisa

1949年、釧路市生まれ。北海道大学大学院理学研究科化学専攻博士課程修了。北米でポストドクを経験後、1983年から北海道大学応用電気研究所（現電子科学研究所）勤務、2001年教授。1996年より産学連携に携わり、北海道中小企業家同友会産学官連携研究会（HoPE）運営委員長、NPO法人産学連携学会会長などを歴任、2009-2012年同学産学連携本部副本部長。2010年、産学官連携功労者表彰において経済産業大臣表彰。



経済産業省 北海道経済産業局
地域経済部 産業技術課
産学官連携推進係長

藤江 稔

FUJIE Minoru

1981年、石川県金沢市生まれ。北海道大学大学院工学研究科修了。2006年より経済産業省北海道経済産業局に勤務。これまで、同局パイオ産業化、本省大学連携推進課および現職において大学発ベンチャー支援や産学官連携の研究支援開発に携わる。



小樽商科大学 グローカル戦略推進センター
地域経済研究部 学術研究員

高野 宏康

TAKANO Hiroyasu

1974年、石川県生まれ。明治大学卒業。神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科博士後期課程修了。小樽・後志の歴史文化の地域資源化に取り組む。



北海道職業能力開発大学校
援助計画課長

鈴木 匡

SUZUKI Tadashi

1967年、横浜市生まれ。東海大学大学院機械工学研究科修了後、株式会社東芝に入社し、官公庁向け組込みシステムソフトウェアの設計・開発に10年間従事。その後、高齢・障害・求職者雇用支援機構に転職。ポリテクセンター三重、東北職業能力開発大学校、ポリテクセンター静岡での指導員経験を経て、現在、北海道職業能力開発大学校 援助計画課長として事業主支援、外部イベント等の企画・運営に携わる。

受講申込書（FAX用）

受講料 **無料**

定員 **50名** (定員になり次第、締め切らせていただきます)

申込方法 この用紙に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。(お電話でも受け付けます)

ふりがな		連絡先 (電話番号)
氏名		
ふりがな		連絡先 (電話番号)
氏名		

※ご記入いただいた個人情報は、個人情報保護に関する法令を遵守し、適切に管理・保護いたします。また、出席確認にのみ利用させていただく場合がございます。
※複数人でお申し込みの場合は、連名でご記入下さい。

北海道職業能力開発大学校 援助計画課

〒047-0292 小樽市銭函3丁目190番地



参加申込
お問合せ

TEL 0134-62-3551

FAX 0134-62-2154